

ホンモノの版木で/ むかしの教科書をつくろう!

ID 0273088

博物館
Museum
☎ 68-1881

“本物”の版木を使い、明治時代の教科書『小学初等科習字帖』を作ってみませんか。

- と き** 8月20日(金)～24日(火) ①午前10時～②午後2時～
- ところ** 研修室
- 定 員** 各回1組 ※2人まで(定員を超えた場合は抽選)
- 参加費** 1冊100円
- 申し込み** 8月10日(日)までに、直接、電話、メール、インターネットで住所・氏名・電話番号・メールアドレス・参加希望日時を博物館(✉ museum@city.gamagori.lg.jp)へ。

※水性インクを使った版画ですが、汚れてもよい服装でご参加ください。



竹島水族館
Aquarium
☎ 68-2059

館長の
ひょうりゅう



小林 龍二

人は暑い暑いと言いつつ涼しい場所に逃げたりかき氷を食ったりできるが、水槽の中の魚は逃げ場がないし扇風機もないので放っておくと煮魚になってしまいます。さすがの熱帯魚も推奨水温は25度くらいなので、この暑さでは耐えられず、もうワシら熱帯魚の称号は返上します、と言って汗だくになっています。深海魚は推奨温度12度なのでこの時期は水温冷却の機械がフル回転しています。基本的にほとんどの機械がオンボロなので毎日もうダメもうダメという苦しい音を発し、隙を見せるところとばかりに止まってしまいそれ以降叩いても蹴っても二度と動かなくなります。

魚を飼育維持する装置はそのほとんどが機械であり、特殊なので値段も高く、加えて電気代も高く毎月の請求に怯えています。せっかくお客



壊れないで永遠に動き続けて下さいお願いします。

さんがたくさん来ても機械が壊れるとまたたく間に財政状況は圧迫され、なんとか修理や買い替えをしようとまた別の機械が次の番ね、といいつて壊れることの連続で慢性的貧困状態はオンボロ水族館の悲しい宿命です。かといって壊れたままでは魚が死んでしまうので、すぐに決断実行散財貧困です。

せめて電気代をと思い、水槽を毎日休むことなく流れている水の循環を使って水力発電ができないものかと思いつき大発見をしたと思ったのですが、電気に詳しい方に聞いてみると、水槽を循環する程度の水の勢いではどうにもならんとのこと、ただただ循環する水を見つめ何もしないで、おなしく眺めるだけなのです。